



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社  
 コード番号 3104 URL <http://www.fujiibo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中野 光雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 吉田 和司  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3665-7612

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	28,278	△10.4	2,781	△27.3	2,879	△25.2	2,329	△0.0
27年3月期第3四半期	31,560	5.8	3,827	52.4	3,851	49.5	2,330	52.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 2,306百万円 (△12.9%) 27年3月期第3四半期 2,647百万円 (52.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	20.02	—
27年3月期第3四半期	19.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	49,357	25,936	52.5
27年3月期	48,677	24,830	51.0

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 25,936百万円 27年3月期 24,830百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,200	△2.4	3,400	△22.1	3,500	△21.7	2,500	5.0	21.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	117,200,000 株	27年3月期	117,200,000 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	2,791,574 株	27年3月期	549,494 株
----------	-------------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	116,371,477 株	27年3月期3Q	116,658,275 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和施策を背景に企業収益の改善や雇用情勢の改善など、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、個人消費は、一部インバウンド需要の高まりが見られたものの、生活必需品の値上げに伴い家計の節約志向が強まり、全般的には力強さに欠ける状況が続きました。加えて、中国および新興国の経済減速懸念や中東を中心に地政学リスクも高まってきており、景気の先行きは不透明な状況となっています。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、中期経営計画『邁進14-16』において重点事業と位置づけている研磨材事業、化学工業品事業、繊維事業の3事業を中心に営業力、開発力、生産力の強化を進め、あわせて収益力向上のための構造改革に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は28,278百万円(前年同期比3,281百万円、10.4%の減収)で、営業利益は2,781百万円(前年同期比1,045百万円、27.3%の減益)、経常利益は2,879百万円(前年同期比971百万円、25.2%の減益)となりました。特別損益には固定資産売却益や固定資産処分損等を計上し、税金費用等を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比僅かに減益の2,329百万円となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

#### ①研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、液晶ガラス用途、シリコンウエハー用途が堅調に推移したものの、ハードディスク用途はパソコンの販売低迷により減少し、半導体デバイス用途(CMP)は中国スマホ市場の成長鈍化による半導体需要の減速を受け微減となりました。一般工業用途もユーザーの需要が減少しました。

この結果、売上高は前年同期比1,823百万円(18.6%)減収の7,990百万円となり、営業利益は1,201百万円(37.4%)減益の2,012百万円となりました。

#### ②化学工業品事業

機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、柳井工場では新工場が稼働を開始し、機能性材料・農薬中間体を中心に安定生産を継続することができたものの、武生工場では一部医薬中間体のユーザーへの納入がずれ込みました。

この結果、売上高は前年同期比453百万円(6.6%)減収の6,442百万円、営業利益は117百万円(40.4%)増益の409百万円となりました。

#### ③繊維事業

繊維事業は、インターネット、TVショッピングなど新規チャネルでの販売は拡大しましたが、量販店、百貨店では売上回復に至りませんでした。主力の定番商品の販売とOEM製品への取組みに注力するとともに、国内外のグループ内素材調達・生産機能を活用することで収益の改善に努めました。

この結果、売上高は前年同期比406百万円(3.6%)減収の10,941百万円、営業利益は38百万円(13.9%)増益の315百万円となりました。

#### ④その他

アジアから中南米への輸出をメインとする貿易部門では、農業用機械の輸出が増加しましたが、自動車関連は車輻およびタイヤの輸出が減少しました。化成品部門は、新規用途として取り組んでいる医療機器用部品が拡大しました。精製部門は、原料となる廃液の減少が続きましたが、エネルギー費を中心に溶剤再生コストの削減に取り組みました。

この結果、売上高は前年同期比598百万円(17.1%)減収の2,903百万円となり、営業利益は2百万円(5.9%)減益の42百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて1,671百万円増加の21,428百万円となりました。これは、現金及び預金、たな卸資産などが増加したことによります。固定資産は前連結会計年度末に比べて991百万円減少の27,929百万円となりました。これは、主として土地を売却したことによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて680百万円増加の49,357百万円となりました。

## (負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて83百万円増加の15,070百万円となりました。これは、未払法人税等や引当金などが減少しましたが、短期借入金などが増加したことによります。固定負債は前連結会計年度末に比べて509百万円減少の8,350百万円となりました。これは、主として長期借入金の返済によるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて425百万円減少の23,421百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて1,105百万円増加し、25,936百万円となりました。これは、剰余金の配当を699百万円実施し、自己株式を501百万円取得したことなどによる減少がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加が2,329百万円あったことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

研磨材事業、化学工業品事業、繊維事業はほぼ予想どおりに推移しており、売上高、営業利益、経常利益については平成27年10月30日に公表した通期の業績予想を修正しておりません。親会社株主に帰属する当期純利益については、固定資産売却益が発生したことから、通期の業績予想を修正しております。

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

#### 企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,239	4,604
受取手形及び売掛金	9,652	9,657
商品及び製品	3,224	2,880
仕掛品	1,577	2,382
原材料及び貯蔵品	1,268	1,213
その他	805	699
貸倒引当金	△11	△9
流動資産合計	19,756	21,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,990	6,011
機械装置及び運搬具(純額)	3,899	5,428
土地	13,994	12,609
その他(純額)	2,911	638
有形固定資産合計	25,795	24,688
無形固定資産	415	437
投資その他の資産		
その他	2,712	2,806
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	2,709	2,803
固定資産合計	28,920	27,929
資産合計	48,677	49,357

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,751	5,038
電子記録債務	505	428
短期借入金	4,426	6,291
未払法人税等	1,038	85
引当金	854	473
その他	3,411	2,754
流動負債合計	14,987	15,070
固定負債		
長期借入金	870	668
退職給付に係る負債	4,676	4,748
資産除去債務	215	214
その他	3,096	2,718
固定負債合計	8,859	8,350
負債合計	23,846	23,421
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	2,174	2,174
利益剰余金	12,752	15,245
自己株式	△63	△564
株主資本合計	21,536	23,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	748	823
繰延ヘッジ損益	△6	△3
土地再評価差額金	2,369	1,506
為替換算調整勘定	362	229
退職給付に係る調整累計額	△179	△147
その他の包括利益累計額合計	3,294	2,407
非支配株主持分	0	0
純資産合計	24,830	25,936
負債純資産合計	48,677	49,357

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	31,560	28,278
売上原価	20,792	18,709
売上総利益	10,767	9,568
販売費及び一般管理費	6,939	6,786
営業利益	3,827	2,781
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	34	37
固定資産賃貸料	148	178
その他	61	56
営業外収益合計	247	274
営業外費用		
支払利息	67	55
固定資産賃貸費用	63	49
その他	92	71
営業外費用合計	223	177
経常利益	3,851	2,879
特別利益		
固定資産売却益	1	360
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	1	360
特別損失		
固定資産処分損	112	44
減損損失	76	38
その他	38	0
特別損失合計	228	83
税金等調整前四半期純利益	3,624	3,155
法人税、住民税及び事業税	1,278	1,063
法人税等調整額	15	△237
法人税等合計	1,293	826
四半期純利益	2,330	2,329
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,330	2,329

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,330	2,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	150	75
繰延ヘッジ損益	△8	3
為替換算調整勘定	64	△133
退職給付に係る調整額	110	31
その他の包括利益合計	316	△23
四半期包括利益	2,647	2,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,647	2,306
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,814	6,895	11,348	28,058	3,502	31,560	—	31,560
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	—	0	8	0	9	△9	—
計	9,822	6,895	11,348	28,067	3,503	31,570	△9	31,560
セグメント利益	3,214	291	276	3,782	45	3,827	△0	3,827

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業及び精製事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,990	6,442	10,941	25,374	2,903	28,278	—	28,278
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	—	—	8	—	8	△8	—
計	7,998	6,442	10,941	25,382	2,903	28,286	△8	28,278
セグメント利益	2,012	409	315	2,737	42	2,780	1	2,781

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業及び精製事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。